

町1-13-11 立川クレストビル1階  
163 Eメール:tama@tokyo-np.co.jp

ユースデスク ムしたまち支局  
2260 電話:03-3844-2215  
6917 FAX:03-5827-7470  
ii@tokyo-np.co.jp Eメール:sitamati@tokyo-np.co.jp

購読のお申し込み  
0120-026-999  
配達・集金が際い合わせ  
03-6910-2556  
広告のご用命  
042-522-6253

心のふるさと 祈りのお山  
**高尾山薬王院**

**武蔵野**

**「震災・原発のあとでも、アート。」**



「震災・原発のあとでも、アート。」に参加した芸術家ら。左から3人目が勅使河原純さん＝三鷹市で

**新進芸術家4人が企画展 三鷹**

都内で活躍する新進気鋭の芸術家4人による企画展「震災・原発のあとでもアート」。ミタカからの視座が、三鷹市下連雀三のスタジオOR1で開かれている。東日本大震災、福島第一原発事故に心を痛めながら創作を続ける4人が、出品作品にメッセージを込めた。二十五日まで。  
(梅村武史)

**美術評論家 勅使河原さん呼び掛け**

若手、中堅芸術家が呼者のインタビュー映像を公開した。故郷を離れた人々が失っていく何ができるのか、でき方言を記録する貴重なフィードバックを返した」という中野浩二さん(三)は彫刻作品。勅使河原さんは「震災後一年八月が経過家、門田光雅さん(三)は抽象画十点を出品。せて整理する時期だ」と「私が抱くグレーな感思。ここに来れば心覚を作品に投影した」という。写真家の安田豊さん(三)は家族の日常スナップを多数展示し「日々の出来事一つ一つの大切さを伝えたかった」と話す。開発好材料。問い合わせは勅使河原さん(三)は、仮設住宅 河原さん(三) 電話04222-9308へ。

「震災後、芸術家に何ができるのか、でき方言を記録する貴重なフィードバックを返した」という中野浩二さん(三)は彫刻作品。勅使河原さんは「震災後一年八月が経過家、門田光雅さん(三)は抽象画十点を出品。せて整理する時期だ」と「私が抱くグレーな感思。ここに来れば心覚を作品に投影した」という。写真家の安田豊さん(三)は家族の日常スナップを多数展示し「日々の出来事一つ一つの大切さを伝えたかった」と話す。開発好材料。問い合わせは勅使河原さん(三)は、仮設住宅 河原さん(三) 電話0422-9308へ。